

所 属 鳥取県漁業協同組合（中山支所）
氏 名 なかむら かずよし
中村 一好（68歳）
漁業種類 潜水（アワビ、サザエ、イワガキ、ワカメ）



～アワビを獲り続けるために～

「なによりも泳ぐことが好きで、毎日のように手錶（やす）を片手に海で魚を追いかけていた。まるで河童のようだった。そして、今も変わらず海が好き。」そう少年時代を振り返り、今を想う、素潜り漁師の中村さん。その口ぶりからだけでも海への想いが十分に伝わってくる。「長年、海を見続けて思うことは？」との問いに、「これまでの漁業は獲るだけで良かったが、これからの漁業はそれだけではいけない。限りある資源を上手く利用するため、獲る大きさを守るなど皆で管理していく必要がある。そうでなければすぐに資源はなくなってしまう。」と力強く答えてくださった。手に取り見せてくれた“アワビおこし”には、これ以上のものは獲らないという大きさを示す印が刻まれており、資源を大切にする取組みへの覚悟にも感じられた。季節問わず素潜りを行う中村さんは、きっと今日も漁場を目指して軽トラを走らせているはずだ。“アワビおこし”を荷台に乗せて。

～好きな歌は“かあさんへ”～

5年程前に始めたカラオケは、今では余暇の大切な時間になっている。吉幾三の“かあさんへ”は必ず歌う好きな歌。歌詞が20代前半の頃の自分の姿と重なるそう。自らは歌が下手と言うが、ぜひとも聞いてみたい。

（文責：門脇 慧史）